

令和元年度決算
富士市議会事業評価

令和2年10月9日
富士市議会

令和元年度決算 富士市議会事業評価

No.	1	02-01-05-001-001	
		広報ふじ作成費	
評価		評価に至った理由	
B		<p>わかりやすい市政情報の発信に努めた紙面構成等は評価するが、月2回発行の継続について、積極的配布の対象を町内会（区）加入世帯としているが、配布を担う地区委員より負担であるとの声があり、検討の余地がある。</p> <p>また、近年、単身世帯の増加等から町内会（区）未加入世帯が増える中、上記の方法では、全ての市民に配布するという行政の責務を果たすことは困難である。対応として、地区まちづくりセンターや一部のコンビニエンスストアチェーンに配架しているが、さらなる改善が必要である。</p>	
A	十分評価できる		
B	やや評価できる		
C	あまり評価できない		
D	全く評価できない		
今後の方向性		今後の取り組み方	
3		<p>月2回配布の是非については、町内会連合会との協議が始まり、二、三年かけて決定するとのことなので、負担軽減も含め十分な協議を求める。</p> <p>町内会（区）未加入世帯への配布について、市民に新鮮かつ十分な情報を確実に提供することが行政の責務と考えるので、他のコンビニエンスストアチェーンに配架協力を求めるほか、配架場所の周知に努めるべきである。</p>	
1	拡充する		
2	継続する		
3	改善し継続	翌年度予算への提言	
4	大幅な見直し	上記の取組に加え、「デジタル変革宣言」を体現すべく、ICTを活用した新たな発信手段確立のための予算措置を求める。	
5	縮小・廃止を検討		

No.	2	02-01-06-001-002	
		ブランドメッセージ推進事業費	
評価		評価に至った理由	
C		<p>ブランドメッセージの必要性は理解するが、このメッセージでは、込められた思いをダイレクトにイメージすることが難しく、市内外で様々な周知活動を展開しているにもかかわらず、浸透しているとは言い難い。</p> <p>さらに、歌やダンスなど、ブランドメッセージの普及事業が目的化しており、本来の、シティプロモーションの推進（「富士市ファン」の獲得）につながっているとは言い難い。</p>	
A	十分評価できる		
B	やや評価できる		
C	あまり評価できない		
D	全く評価できない		
今後の方向性		今後の取り組み方	
4		<p>ブランドメッセージはあくまでキャッチコピーであるので、それ自体の認知度向上ばかりに力を入れるのではなく、メッセージに込められた思いの実現につながるよう既存施策の充実や新規施策の創出を求める。</p> <p>また、ブランドメッセージを紹介する際には、その理念が伝わりやすいよう、ボディコピーとセットにするなどの工夫をすべきである。</p>	
1	拡充する		
2	継続する		
3	改善し継続	翌年度予算への提言	
4	大幅な見直し	上記の取り組みに必要な予算措置を求める。	
5	縮小・廃止を検討		

令和元年度決算 富士市議会事業評価

No.	3	03-01-01-009
		社会福祉センター運営費（大事業）
評価		評価に至った理由
B		<p>高齢者の健康増進、介護予防の推進、及び、生きがい創出の場として、一定の利用者数を維持しながらその役割を果たしてきたことは評価できる。一方、本施設から遠い地域の高齢者や障害者、児童などの新規利用が少なく、利用者が一部固定化し、幅広く利用されているとは言い難い。</p> <p>また、災害時には福祉避難所として要配慮者の受け皿となっているが、老朽化により、修繕経費等が高むなど、その機能維持が困難になることが懸念される。</p>
A	十分評価できる	
B	やや評価できる	
C	あまり評価できない	
D	全く評価できない	
今後の方向性		今後の取り組み方
3		<p>新規利用者の登録増となるよう周知等の取組強化や、入浴施設をはじめとした各種設備利用の際、受益者負担を求めることについて検討を求める。</p> <p>また、大規模改修が必要な老朽施設が大半であることから、公共施設再編計画に基づき、存廃も含め、各施設の方向性を早急に示すべきである。</p>
1	拡充する	
2	継続する	
3 改善し継続		翌年度予算への提言
4	大幅な見直し	当面の施設維持のために必要な予算措置を求める。
5	縮小・廃止を検討	